

南町田グランベリーパークダブル受賞

東急と東急電鉄、東京

都町田市は23日、南町田グランベリーパークが「第40回緑の都市賞」国土交通大臣賞、「第8回プラチナ大賞」新しい時代のまちづくり賞を受賞したと発表した。

南町田グランベリーパークは、東急電鉄田園都市線の南町田グランベリーパーク駅南側に広がる商業施設跡地と鶴間公園を中心とする約22haを再開発したエリア。官民で都市基盤・商業施設・都市公園・駅などを一体的に再整備・再構築し、自然とにきわいが融合した拠点を創出、昨年11月にまちびらきを行った。

緑の都市賞

緑の都市賞は都市緑化機構主催

で、緑を用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化などに先進的かつ意欲的に取り組み、良好な成績を上げた市民活動・まちづくり活動を表彰する。

公園などオープンスペースの配置でまちの価値を高める官民一体のまちづくりや、再開発時の伐採材を新たに誕生した施設の本棚や椅子などに活用する取り組みが高く評価された。国交大臣賞は内閣総理大臣賞（1カ所）に次ぐもので、今回は3カ所が選ばれた。

プラチナ大賞

プラチナ大賞はプラチナ

構想ネットワーク主催で、これからの日本が直面する社会・地域課題を新たな切り口・手法で解決しようとする先進的な取り組みのうち、特に優れた事例を表彰する。

応募58件の中から最終審査14団体に選ばれ、優秀賞の一つ、新しい時代のまちづくり賞を受賞した。官民連携により、道路の再配置などで商業施設と公園をつなぎ、歩いて回遊できるまちづくりを進めたこと、町田市と東急で町の活動を支える一般財団法人を設けたこ

外観改修後の古民家

